

さいとう
西塔 拓己さん (能美町高田・広島商3年)

日々の練習の積み重ねでつかんだ頂点



将来、「世界」を目指せる
選手になりたい。

西塔さんは、7月31日(土)に沖縄県で行われた高校総体陸上男子5km競歩に出場し、見事優勝しました。大会では予選を1着で通過。決勝は照りつける強い日差しの中、レース序盤から果敢に飛び出して先頭に立ちました。中盤以降、後続に迫られる場面もありましたが、一度もトップを譲ることなく2位に15秒以上の差をつけ、22分2秒88でゴール。歡喜の雄たけびをあげました。

能美中では陸上部に所属し、高校1年生の6月ごろに先輩に誘われて競歩を始めました。「最初は誘われて仕方なくという感じでしたが、その年の8月にあった地区大会で自己記録を4分近く更新して、面白くなりました」と西塔さん。現在、広島商では唯一の競歩部員で、本格的な技術指導を受けるのは東広島市で月に1、



8月5日(休)に田中市長を表敬訪問。「これからも頑張る」と激励を受けました。

2回程度。残りの日は校外の河川敷で練習し、トレーニングメニューも自分で考えます。「身近に競い合う仲間はいませんでした。一人でも気持ちを切らさずに練習を続けてきたことが結果につながって嬉しいですよ」と笑顔がこぼれました。

西塔さんの次なる大きな目標は秋の国体です。田中市長を表敬訪問した際「秋の国体は10月に千葉県で行われます。まずはこの大会に出場し、もう一度頂点に立ちたい。将来的には大学に進学して4年間自分の力を試し、世界大会やオリンピックを目指せるような選手になりたいです」と話していました。

ほっつひつき

4ページと5ページで紹介した体験教室の長島探検に同行するため、動きやすい服装に着替えて取材へ。海岸を歩くので濡れるだろうとサンダルを履いて行きましたが、参加する皆さんの足元を見ると全員が運動靴。なぜだろうと思いつつ島に上陸すると、海岸沿いにゴツゴツした岩場が待ち構えていました。「しまった」と後悔しましたが後の祭り。ただでさえ歩きにくい行程が余計に歩きにくくなり、足を滑らせたり足の指を切ったりしてしまいました。

なんとか取材を終え、ふと体験教室の案内文を見るとそこには「運動靴でお越しください」の文字が。時間と場所だけ確認していて、注意書きを見落としていました。取材前の準備は万端にしなげればと、反省した一日でした。